

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		総合センター維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	上原 哲也
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	泉田 聡
	基本事業	70	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備			所属班	生涯学習班	(内線)	1514
予算科目		会計一般	款10	項5	目2	事業連番10837	法令根拠	成果優先度評価結果	⑫
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 9 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	総合センター「ヴィーブル」の維持管理事業。平成7年11月に総合センターが開館し、旧合志町における生涯学習施設の一大拠点となり、施設の維持管理が必要になった。生涯学習、生涯スポーツの一大拠点として、多くの市民に利用され、あるいは全国大会規模の屋内スポーツや県内屈指の文化ホールを利用した催し物など、スポーツや文化芸術面での振興に果たした役割は大きい。建築後15年を経過しており、近いうちに設備の一部を経年更新する必要があるが、計画的に整備しないと一時期に莫大な費用を要することになる。
【業務の流れ】	総合センターの維持管理に係る各種の契約事務、各所の工事営繕、事務用機器の賃貸借、備品や消耗品、燃料の補給などを行い、市民の要望に応じた利用しやすい施設環境を整える。
【主な予算費目】	需用費(消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費、燃料費) 役務費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、備品購入費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	毎年、維持管理経費も多額であるため、施設利用が有効か、快適な施設環境が保たれているかを問う声が時折議会から出ている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)		23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
総合センター植栽管理業務、警備業務、清掃業務、空調設備等保守点検業務、各施設修繕業務等		総合センター植栽管理業務、警備業務、清掃業務、空調設備等保守点検業務、各施設修繕業務等
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 千円	予算の主な増減の理由
→ ア: 総事業費	イ:	経年劣化による維持コストの増加 委託費の見直しによる経費削減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人
		→ ア: 市民
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	総合センター「ヴィーブル」の施設を快適に利用してもらう	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 回
		→ ア: 施設の改修回数
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
○維持管理業務を適切に行っていくことで、施設の機能性・安全性が維持され、市民により快適に施設を利用していただくことができる。○施設の拡充等困難な状況であり、ニュースポーツなど新しい企画などでの啓発により、従来の施設を周知することを条件として目標値を微増で設定		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	千円	87,450	76,389	78,380	70,514	69,006	69,006	69,006
	イ								
② 対象指標	ア	人	54,561	54,856	55,500	55,550	56,000	56,500	57,000
	イ								
③ 成果指標	ア	回	18	16	15	15	15	16	17
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円			480	476		
		地方債	千円						
		その他	千円	8,867	9,601	12,424	13,045	12,246	12,246
		繰入金	千円						
	一般財源	千円	78,583	66,788	65,476	56,993	56,760	56,760	
	(A) 事業費計	千円	87,450	76,389	78,380	70,514	69,006	69,006	69,006
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	3	2	3	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	2	2	2	3	2	2	
延べ業務時間	時間		1,340	1,340	1,340	1,150	1,340	1,340	
	(B)人件費計	千円	5,360	5,333	5,333	4,738	5,520	5,520	
トータルコスト(A)+(B)		千円	92,810	81,722	83,713	75,252	74,526	74,526	

総トータルコスト
全体計画
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

事務事業名	総合センター維持管理事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE) *原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 経年による施設の劣化には施設修繕費で対応し、例年どうりの維持管理業務を行うことができた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 総合センターの施設を維持していくため、例年通りの維持管理業務を継続して行っていくため。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 経年とともに施設の利便性低下を抑えるため、必要な費用を確保していくことで現状水準を維持する。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似の施設は他にもあるが、経年も異なり連携や共同の事業実行は困難である。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 巨大な施設であり、光熱水費用の無駄を省き、施設設備の近代化改修などの努力で削減は可能である。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 管理体制の人的配置は必要最小限であるため、削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 施設利用の際には、受益者負担の原則により施設使用料の負担をいただいている。また平成20年度より、「冷暖房使用料」「シャワー使用料」についてもコインタイマー制としている。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 施設の機能性・安全性の維持に関しては、行政の責任において施行していく必要がある

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						